

寄付をいただきました

チャリティー健康づくり収益金寄付

一般社団法人西北労働基準協会健康づくりゴルフ大会実行委員会(委員長・増田教正)が6月19日(火)に開催したチャリティー健康ゴルフ大会の収益金を、7月31日(火)に増田委員長が中泊町役場を訪れ、濱館町長に寄附金として手渡しました。増田委員長は「町の事業に役立ててください」と伝え、濱館町長は「大切に使用させていただきます」と感謝の気持ちを述べました。



世代間の交流を楽しみました。参加した子どもたちは「お魚釣りが難しかった。お土産の花火とヨーヨーが嬉しい」と楽しそうに話していました。

むかしの遊びを楽しむ

今年もリターンワールド開催

下前地区の3つの母親クラブが、8月5日(土)すくすくしたまえ館でリターンワールドを開催しました。この催しは、母親クラブのみなさんが地域の子どもたちに昔の遊びや食事を楽しみながら交流するものです。

この日は地元の親子を中心に約20人が参加し、お魚釣り、ハンカチ落とし、お手玉などを楽しみました。その後、参加者全員で焼きそばやデザートを食べながら、

水資源の活用について話し合う

第6回水資源環境フォーラム、中泊町で開催

岩木川環境公共ネットワーク協議会が主催で、8月8日(水)に中泊町総合文化センターパルナスで開催されました。三村申吾知事は講演で、岩木川流域の農業産出額の多さを取り上げて、「農林水産業は水があってこそ成り立つ。山、川、海それぞれの水を循環させるシステムづくりが必要」と話しました。続いて津島淳衆議院議員も「水循環について考えてみよう」というテーマのもと、岩木川流域のみならず広い視点から講演しました。

トークセッションでは、国土交通省岩木川ダム統合管理事務所の栗田信博所長、東北農政局津軽土地改良建設事務所の太田勝也所長、西目屋村の関和典村長、そして濱館町長が、「岩木川の水資源における活性化について」をテーマにそれぞれ講話しました。濱館町長は、治水について武田地区の昔と今を写真で比べながら話し、参加者たちは頷きながら話を聞いていました。



広告

HONDA 除雪機 ご予約受付中

早得3年補償
早期購入キャンペーン実施中
2018年11月30日まで
2つの補償が、もれなく3年間つきます!

ファミリーマート 国道339号
金木自動車学校
ホンダドリーム五所川原
ホンダドリーム五所川原
TEL 0173-52-4737

乗って応援!!		津 軽 鉄 道
平成30年度 目標乗車人数	300,000人	
速報!! 4月～8月分の 乗車人数	83,888人	
目標まであと……	216,112人	

地域とともに歩み続け30年

中里横笛愛好会30周年記念フェスティバル

中里横笛愛好会は、8月12日(日)に津軽中里駅の駅ナカにぎわい空間で、設立30周年記念フェスティバルを開催しました。郷土芸能の継承などを目的に設立され、祭りのねぶた運行や登山ばやし大会に出場するなどの活動をし、現在の会員は児童を含め約50人です。

記念フェスティバルでは、様々な囃子や郷土芸能を披露し、フィナーレでは駆け付けた近隣の囃子団体とともに演奏し、会場一体となって盛り上がりました。工藤会長は「次の40年、50年を目指し、郷土文化の継承を若い会員に託していきたい」と話しました。



新成人、希望を胸に

平成30年度中泊町成人式

平成30年度に20歳を迎える新成人を祝おうと、8月15日(水)総合文化センターパルナスで中泊町成人式が開催されました。

当日は、対象者93人(男50人、女43人)のうち、66人(男37人、女29人)が参加し、あてやかな着物や夏らしいドレス姿で、久々に再会する仲間たちと近況を伝え合ったり、成人式の看板の前で写真を撮ったりしていました。

式典で米塚教育長は「皆さんの輝かしい未来をいつまでも応援しています」と語り、新成人にエールを送りました。

答申内容の概要を決定

こどもり小中学校設置検討委員会

こどもり小中学校設置検討委員会が開催され、7月31日(火)の会合では、視察した三戸町の三戸学園(小中一貫校)と秋田県井川町の井川義務教育学校の2校を比較して理解を深めたほか、建設場所をふれあい運動場付近に決定しました。

8月31日(金)の会合では、学校の経営形態を小中一貫校と義務教育学校のどちらにするかを話し合い、出席した委員1人1人が意見を述べ、それらを集約して答申内容がおおまかに決定しました。

答申内容は小中一貫校とすることを決め、将来的に義務教育学校移行も視野に入れて、義務教育学校についても併記される見込みです。今後の会合では、答申に向けて内容を詰めていく予定です。

